



YAMATO Nature Circle

ヤマト自然俱楽部 ~ヤマトネイチャーサークル~ 2025/11 vol.147

「ヤマトネイチャーサークル」は、株式会社ヤマトが行っている様々な自然環境への取り組みの総称です。

さらなる自然との共生を目指し、地域社会や自然環境への貢献を目的として「ヤマトネイチャーサークル」は幅広い情報発信をしていきます。

2025年11月

葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち Vol.82

— 絵と文 群馬直美 —

シマシマ・トリック《ミソハギ》

5年ほど前にもヤマトビオトープ園のミソハギの花を描いた。

そのときは、一つの花だけを拡大して画面いっぱいに描いた。

今回は、茎に花とつぼみがひしめき合ってついている様子。

なぜ描いたかというと、ミソハギのガクの縞模様に、

またしても心がときめいてしまったから。

しかも今回は花のガクだけではなく、つぼみにも縞模様を発見!

濃い桃色の花たちが華やぐその上に、

青白い葉とつぼみたちが醸す静けさが、とてもいい。

〈縞模様〉といえば、シマウマ。あの白と黒の縞模様は光を拡散して、

アブなどの吸血昆虫から身を守る効果があり、

牛も白と黒の縞柄に塗ったら同様の効果があったと、最近話題になった。

ミソハギの縞模様はその逆で、虫たちを花の中心部に誘導するための目印。

受粉を確実にするためのミソハギの戦略なのだろう。

私もヤマトビオトープ園のミソハギの縞模様に誘われて、二作描いた。

ミソハギの縞模様は昆虫も人も誘き寄せる、とても魅力的な縞模様だと思う。



オープントリエを開催します。ぜひ、お越しください。

石田倉庫のアートな2日間

- 日時：2025年11月8日(土)・9日(日) 10:00～17:00 《入場無料》
- 場所：石田倉庫アトリエ 〒190-0013 東京都立川市富士見町2-32-27

《表紙の絵》ミソハギ ×2.3

「魅力的な縞模様！」

・ヤマトビオトープ園にて2025.7.29採集
(作品の完成日は、2025年9月22日)

・紙(ファブリアーノ エキストラホワイト極細目) / テンペラ
size:335mm×245mm ©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、「葉っぱ」をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の美術館』『葉っぱ描命』他。東京都立川市在住。 <https://www.wood.jp/konoha/>